

中部大学のCOC (Center of Community) 事業

COC事業は、文部科学省が推進する「地(知)の拠点整備事業」で、地域志向の活動を通して学生の教育・人材育成に取り組む大学を国が支援するものです。中部大学は地元・春日井市と連携し、様々な構想の下、大学の持つ人材や技術、知の資産を活用して地域再生・地域活性化に取り組みます。これらの取り組みを地域の方々や学生とともに実践し、創造・協働・自立の精神を身につけた、あてになる人間、「地域創成メディエーター」を育成しています。

活動概要

地域創成メディエーターの育成・認定

地域社会の再構築のために必要な人材の育成を目指して、『地域共生実践～春日井市問題発見のすすめ～』という科目を設置。地域で“多くの年代”や“さまざまな考え方や文化の人々”が共に生活することに対応する人間的基盤形成を目的としています。

シニア大学 CAAC

50歳以上の方を対象とした中部大学アクティブアゲインカレッジ(CAAC)を開設。社会貢献、再就労、生きがい・仲間づくりを視野に入れた生涯学習の場としてシニアのセカンドライフづくりを支援します。

体験レポート

「中部大学祭での活動」

サークル活動やゼミの研究内容の展示があり、発表会中の映像が流されていました。この日は普段ボランティアとして施設などで慰問活動をしている受講生の方によるマジックショーが行われており、子供たちと一緒に楽しんでとても楽しい空間になっていました。このよう



な高齢者の学びの場や、その発表の場が設けられていることは「とてもいいな」と思いました。

キャンパスタウン化

中部大学のキャンパス機能を高蔵寺ニュータウンまで拡大。地域とともに育む学生教育の場と学生生活の場を融合しキャンパスタウンとして活性化する構想。

報酬型インターンシップ

報酬を得て働きながら同時に社会人教育を受ける取り組み。企業にとっては、当面の人材確保と地元での雇用促進のメリットが生まれ、学生と企業の双方に利点があります。

生活・住環境を考えるまちづくり

春日井都市計画のまちづくりの重要課題を解決し、人々が安心して快適な生活を送れるように、工学部が中心となって学術分野の地域協働研究を行っています。

高齢者・学生交流 Learning Homestay

学生が高齢者のお宅にホームステイをする試み。学生にとっては高齢者と住むことが学びになり、生活の共有は高齢者と若者との相互理解を深めます。

体験レポート

「ラーニングホームビジット報告会」

ラーニングホームビジット(LHV)での経験や内容などの発表会です。学生の発表を笑顔でうなづきながら聞いているシニアの方がいらっしゃったり、ときには笑いが起きたりと、とても穏やかな雰囲気の会場でした。LHVの後も交流が続いている世帯もあり、この交流を通して良い関係性を築いてきたことがうかがえました。



編集後記

この広報誌を編集させていただくことになって初めて、大学内でこれだけ多くの催し物が行われていることを知りました。皆さんにもこのことを知っていただきたいと思い、より見やすく読みやすい記事になるよう心掛けて編集しました。(西川・安田)

発行元



愛知県春日井市松本町 1200
中部大学 地域連携教育研究推進部
E-mail: coc@office.chubu.ac.jp
TEL: 0568-51-1763 FAX: 0568-51-4659